

(様式2)



令和2年10月8日

始良市議会議長 様

会派名 市民クラブ  
代表者氏名 吉村 賢一  
(電話) 0995-63-0364

### 調査研究報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

#### 記


- 1 日程 令和2年8月17日(月)13時30分～
- 2 場所 始良市始良公民館 2階 会議室
- 3 目的 新庁舎建設
- 4 該当する政務活動費の用途項目 研修費
- 5 支出経費の内訳と金額 研修費  
¥11,732.- (4会派で按分)
- 6 参加議員名 吉村賢一・上村 親・湯川逸郎・峯下 洋
- 7 活動成果の概要、所見  
別紙のとおり
- 8 成果物、資料等  
パンフレット

領 収 書

納入	住所	始良市 鷗町 26番 2		
	氏名	始良市議会 志成会		
款	項	目	節	
	令和 2 年度		一般会計	
金額		特別会計( )		円
金額		百万	千	円
金額		73240		
摘要	収入金の種類	単価	枚数	金額
	2/17 18.10~16.10		×2回	
	会議室123	260	3H	1560
	空調机123	280	3H	1680
減額(2017対策)				

上記のとおり領収しました。

金融機関領収日付印



(始良市) 納付者用

領 収 書


1,550 円

一金

コピー料金として

令和 2 年 8 月 17 日

始良市長



領 収 証

始良市議会 志成会 様 No. 281

金額	¥ 2 1 6 0
----	-----------

内 訳

現金 但 横断幕代として

小切手

手形

消費税額等(%)

公益財団法人 始良市文化振興公社  
代表理事 徳重武秀

はり号条印  
り取の策紙  
ま入規一税  
せ印定項法  
ん紙に第  
をよ三第  
をよ五

係印  
徳重武秀

5230 56-390



領収書  
RECEIPT

1003257783

下記の金額正に領収致しました。

RECEIVED FROM

様

THE SUM OF

¥18,790 (税込)  
(TAX INCLD.)

印紙税申告済  
行につき品目  
税務署承認済

但し運賃・料金として  
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT

航空券番号  
TICKET NUMBER 1311496435933

関連航空券番号  
OTHERS \*\*\*\*\*

発券日  
DATE OF ISSUE 2020年08月13日

備考  
REMARKS クレジット(JL) ¥18,790

発行：日本航空株式会社 HNDPT

2020年08月13日

# 領 収 証

令和 2年 8月 17日

始良市議会 志成会 様

金 30,000円也

但 始良市議会「複合新庁舎とまちづくり」  
講演会 (講師謝金) として  
上記正に領収いたしました

住 所 東京都渋谷区

氏 名 JSC 株式会社  
代表取締役 井口 哲朗

合計 55740円

うち 始輝 20531円

市民ら3.0 11732円

公明党始良市議団 5866円

志成会 17611円

領収書の原本は志成会に添付

始良市議会議長  
東馬場 弘 議長 様



令和2年10月8日

会派 市民くらぶ

会長 吉村 賢一



会派合同講演会「複合新庁舎建設とまちづくり」開催報告書  
下記のとおり始良市議会会派による講演会を開催しましたので報告します。

記

### 未来を見据えた公共施設 建設の在り方について

日時:令和2年8月17日 13時30分～15時20分

会場:始良公民館2階 第1、2、3会議室

講師:(株) JSC 代表取締役社長 井口哲朗氏

#### 参加者

議員:19名(志成会・市政クラブ始輝・市民くらぶ・公明党始良市議団)

来場者数:一般35名、建設関係10名、職員15名、議員19名 合計80名余

#### 講演の要旨

##### 体育館の在り方

- ・体育館を1週間で30棟に替えた例
- ・障害者が使える体育館

以上は6/10の南日本新聞に掲載

##### 建物の地震対策

- ・耐震・・・構造を頑丈にする
- ・制震・・・揺れを吸収する
- ・免震・・・減衰装置(ダンパー)

基準級を1とした場合、上級は5~10%、特級は5~15%levelアップ

##### ライフサイクルコスト

免震の維持費は2千~8千万円/年、70年間の維持費は建築費の2倍。

保守点検は1年又は5年毎

但し、縦揺れより横揺れに効果がある、軟弱地盤には不向き。

耐震の維持費は平時は不要

##### 地震発生30年確率

- ・6弱地震2~5%/30年
- ・市来断層の地震発生確率6千年に1回、0.05%。

##### 一般論

- ・建築 CHECK については議会が行うべきである。

- ・塩害が予想されるため、屋上に機械類は置かない方が良い。

## II 部の講演

- ・有明アリーナ（バスケット B2 基準）は工場で作材を生産し工期 6 か月で完了
- ・LC トレーニングアリーナ・体育館とスポーツビジネス
- ・始良市では床 - ツ合宿に補助を出してもいいのではないか
- ・加治木支所をどうしたいか、活性化にアリーナを取り入れられないか。

### 事前の質問の回答

1. Q：縦揺れに対して耐震、免震はどこまで耐えられるのか。

A：縦揺れには大きな違いはない。しかし、侵害の調査から横揺れが建物に甚大な影響を及ぼすことが解ってきた。官公庁の施設については、1,25 倍の強さの耐震性を持たせるように定められている。

2. Q：免震構造の建物では、横揺れ時最大 60cm ほど建物が動くと言いが 5 階建ても同様なのか。

A：免震構造の建物は、地震時階数に関係なく横方向に動く。免震装置のゴムやダンパーで制御する。

3. Q：始良カルデラのマグマ溜まりは地下 15km と深く、大きな地震は起きないと報道があった。揺れの想定は、どの程度か。

A：「J-SHIS 地震ハザードステーション」における始良市周辺は、30 年間で震度 6 弱以上の揺れが起こる確率はそれほど高くはない。また、近辺の断層も発見されていない。よって震度 7 以上の大きな揺れは、極まれにしか起きないと推定される。ただし断層がないわけではないので要注意である。

4. Q：震度 7 の地震が起きたと仮定して、耐震と免振ではどのように違うのか。

A：構造形式として耐震・免震・制震の 3 種類がある。どの構造も建物も十分耐えられるように設計されているので差異はない。ただし、耐震は地震動に沿った揺れをするが免震は耐震と比較して揺れが小さいか、ほとんど揺れを感じないことが普通である。

5. Q：免震は建設費やメンテナンス費など大きな費用が生じると言いが、耐震は発生するのか

A：有害なひび割れや鉄骨部分の曲がり変形が生じない限り、メンテナンスや材料交換等は必要はない。

6. Q：玉名市や武雄市は、耐震で建設している。どのように評価するか。

A：軟弱地盤や液状化の危険性が高い地盤、地中構造が傾斜していると免震に適さない。ファシリティマネジメントの観点から検討されて判断されたと思う。また耐震の方がコスト面のメリットは高い。

7. Q：全く揺れない建物がいいとは言えない。揺れることにより危機意識を高めると聞いた。どのように評価するか。

A：「防災意識」向上の観点から、そのような意見はある。ただ社会的弱者の収容施設は、パニックにならないよう、免震を導入することを推奨している。

※事前質疑の回答ののち、参加者からの質問の受付

## 要望・確認

議会に対して：我々の声は、どのように通っているのか、チェック機能はあるのかしっかり検討してほしい。

## 質疑

Q：免震建物と耐震建物のジョイント部分はどうなるか。

A：地震時、揺れる建物と揺れない建物をジョイントすることは、大変難しい。

## 質疑

Q：免震構造のメンテナンスはどうなるのか。

A：1年、その後5年ごと、また国内外で大きな地震が発生した場合は、緊急点検が必要。次にⅡ部として、井口講師が手掛けたアリーナーの説明に移った。

## Ⅱ部後の質疑

## 質疑

Q:加治木の体育館と行政棟は、マッチングできないか。

A:可能である。全く問題はない。

## 質疑

Q:議員はどのような内容で検討をしているのか。

A：議論を進めるため、今回勉強会を開いた。（議員より）

## 所感

※耐震、免震について学んだわけだが建設コスト、ランニングコストは免震が高く、耐震が安い。ことは分かった。

※始良市にも活断層はあるが免震にこだわるほどの大きさとは思えない。

※文書管理も出来るだけデジタル化して保存し、ペーパーレスに移行すべきと考える。

※コロナ渦で今、最大限にやらなければならないのは、箱物建設ではなく、ネット環境の整備と充実だと思う。

※庁舎に来て頂くのではなく、来なくてもいい環境整備を急ぐ方がベストだと思う。

あと10年もしたらそのような時代になる。と信じている。

※「5Gの到来」で夢のような時代になるならそれも配慮すべきである。

※国が推奨する基準を満たせばあとは、始良市の判断で決定できる。

以上